

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

建物、ソフトウェアについては定額法、構築物については定率法により固定資産の帳簿価額を直接減額しております。

(2) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(3) 消費税に関する会計処理

税込み方式によっております。

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	121,000,000			121,000,000
定額貯金	10,000,000			10,000,000
小 計	131,000,000			131,000,000
合 計	131,000,000			131,000,000

3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	121,000,000	()	(121,000,000)	()
定額貯金	10,000,000	()	(10,000,000)	()
小 計	131,000,000	()	(131,000,000)	()
合 計	131,000,000	()	(131,000,000)	()

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次の通りである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	39,914,746	21,619,816	18,294,930
建 物 (土地信託)	255,494,253	86,804,162	168,690,091
構 築 物 (駐車場)	34,232,519	32,537,837	1,694,682
構 築 物 (土地信託)	10,290,000	9,710,497	579,503
什器備品	2,611,440	878,291	1,733,149
ソフトウェア	1,050,000	787,500	262,500
合 計	343,592,958	152,338,103	191,254,855

5. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は次の通りである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収入金	384,400		384,400
(注) 過年度において貸倒実績はなく、貸倒引当金は計上しておりません。			
合 計	384,400		384,400

6. 補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次の通りである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
小牧市補助金	小牧市	180,036	270,000	134,877	315,159	指定正味
合計		180,036	270,000	134,877	315,159	財産

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次の通りである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	134,877
受取地方公共団体補助金	
合計	134,877

附属明細書

附属明細書（基本財産の明細）は「財務諸表に対する注記」の2. 基本財産の増減額及びその残高に記載してあるため、省略する。